

1. 件名：「浜岡原子力発電所 3 号炉及び 4 号炉の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(146)、(179)」

2. 日時：令和 5 年 7 月 2 6 日(水) 1 0 時 4 5 分～1 2 時 3 0 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：TV 会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査
官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、道口主
任技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長
他 8 名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年 7 月 2 0 日に受領済み>>

・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について

時間	自動文字起こし結果
00:00:04	規制庁地震津波の鈴木ですそれでは浜岡原子力発電所地震による津波のヒアリング、プレート間以外のですね、地震による津波のヒアリング、
00:00:14	2回目ということで、資料は、こちらは、
00:00:21	課付の本編と、あとは補足説明資料は、これは前回6月から更新がないということで6月21日付ということで、
00:00:32	この修正なった本編
00:00:34	資料について説明をお願いします。
00:00:38	はい。中部電力の小川です。基準津波の策定のうち地震による津波としまして、本日は海洋プレート内の地震それから海域の活断層による地殻内地震の津波評価につきまして、
00:00:51	前回7月13日のヒアリングでいただいたコメントを反映した資料をお持ちしましたので、変更点を中心にご説明をさせていただきます。説明時間およそ10分程度になっております。それでは担当の方からご説明させていただきます。
00:01:05	はい。中部電力の加藤でございます。
00:01:07	浜岡原子力発電所基準津波の策定のうち、地震による津波について、前回ヒアリング資料からの修正箇所について説明いたします。
00:01:16	まず5ページをお願いします。
00:01:21	はい、5ページですが、コメントとコメントを踏まえた対応に関するページを今回追加しまして、表の右側の方に該当箇所を記載しております。
00:01:31	基準津波の策定の論点に関する評価方針のご審議の際にいただきました、今後詳細な説明を求めるコメントに対しまして、今回コメントを踏まえた対応を整理しました。
00:01:42	この概要というところを読み上げますが、No. 1 コメント、プレート間地震と海洋プレート内地震の組み合わせに関する考え方に関して、
00:01:50	プレート間地震と海洋プレート内地震と組み合わせを考慮する必要がないことについて、地震の発生メカニズムや、これら地震の同時発生に関する企業知見事例を整理しました。
00:02:03	次のNo.2 コメント海域の活断層による地殻内地震のパラメータスタディの範囲に関して、滑り角、断層上端深さ等のパラメータスタディの範囲について、その根拠資料を追加しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:15	また滑り角のパラメータスタディの範囲は、根拠資料として追加したプレートの沈み込み方向の違いに基づく滑り角の変動幅を考慮しまして、基準とする滑り角 $\pm 10^\circ$ から $\pm 20^\circ$ に変更しました。
00:02:30	No. 1 コメントに関して、10 ページ、お願いします。
00:02:40	はい、10 ページですが、プレート間地震とその他の地震の組み合わせに関する考え方のページになりますが、この10 ページから15 ページにかけて、今回審査ガイドに記載されております、サイトの地学的背景、
00:02:55	津波発生要因の関連性を踏まえて、主に箱書きの組み合わせに関する考え方の記載を見直しました。
00:03:02	箱書きの矢印のところですが、
00:03:04	プレート間地震とその他の地震の組み合わせの検討にあたっては、地震発生のメカニズムとして、大規模な地震ほど地震発生のための準備過程がそれぞれ個別に必要と考えられることから、
00:03:16	プレート間地震の地震動、もしくは地殻変動による別の大規模な地震の同時発生は、津波評価上関連性が非常に低いと考えて考慮せず、プレート間地震の分岐断層等への破壊伝播による同時発生を考慮することとしています。
00:03:31	17 ページをお願いします。
00:03:44	17 ページには、プレート間地震と活断層の組み合わせ時間差の検討方針に関するページを、今回追加しております。
00:03:52	下のフローですが、左側が地すべりの津波、右側が海域の活断層による地殻内地震の津波について、それぞれプレート間地震と組み合わせを考慮する考え方。
00:04:03	その下に、津波の組み合わせる時間差の検討方針。
00:04:06	一番下に、時間差の検討範囲を整理しました。
00:04:10	上の箱書きですが、地すべりは、地すべり位置におけるプレート間地震の地震動継続時間の範囲で発生すると考えられることから、津波の組み合わせ時間差は、
00:04:20	地すべり位置におけるプレート間地震の地震動継続時間の範囲の中で、敷地への津波影響が大きい時間差を検討することとしています。
00:04:30	海域の活断層による地殻内地震は、断層位置にプレート間地震の破壊伝播が到達した時に発生すると考えられますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:37	津波の組み合わせ時間差は地すべりと同様に、津波の組み合わせにおいて検討することとしましたので、断層位置にプレート間地震の破壊伝播が到達した時刻だけでなく、
00:04:48	保守的に地すべりと同様の方法で組み合わせ時間差の検討を行うこととしました。
00:04:54	次に 22 ページをお願いします。
00:05:03	22 ページには、前回会合で掲載しておりました活断層に関する地震動評価と津波評価の比較ページを再度本編資料にも掲載しております。
00:05:13	次に、No.2 コメントに関して、ページが飛びますが 84 ページお願いいたします。
00:05:32	84 ページですが、活断層津波のパラメータスタディの検討方針と設定条件になります。
00:05:40	表の中央の滑り角のところですが、前回のヒアリングでのご確認を踏まえまして、パラスタ範囲を基準とする滑り角、プラマイ 10° からプラマイ 20° に変更して、
00:05:51	今回追加解析を実施しました。
00:05:53	総根拠ページとして、7、7 円 87 ページをお願いします。
00:06:05	87 ページには、御前崎海脚西部の断層体と、518 断層のプレートの沈み込み方向の違いに基づく滑り角の変動幅をお示ししておりますが、
00:06:15	傾斜角を変更した場合の変動幅についても算出しまして今回記載しております。
00:06:20	その結果、滑り角の変動幅はプラマイ 20° 程度であることを確認したため、御前崎海脚西部の断層対英語 18 断層の滑り角のパラスタは、津波評価上、逆断層タイプとして保守的に設定した。
00:06:34	基準とする滑り角 90° に対して、プラマイ 20° の範囲、滑り角 70 から 110 度の範囲で検討することとしました。
00:06:43	次の 88 ページですが、こちらには遠州断層系の滑り角の変動幅をお示ししておりますが、
00:06:50	同様に傾斜角を変更した場合の変動幅について今回記載しました。
00:06:54	その結果滑り額は 160 から 170° の範囲であり、その変動幅はプラマイ 2 度から 4 度であることを確認したため、
00:07:02	遠州断層系の滑り角のパラスタは基準とする滑り角 180° に対し、プラマイ 20° の範囲。
00:07:10	滑り角でいうと 160 から 200° の範囲で検討することとしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:15	次に 92 ページをお願いします。
00:07:23	92 ページですが、御前崎海脚西部の断層体の水位上昇側のパラスタ結果の一覧になります。
00:07:31	滑り角のプラマイ 20 度の解析結果は、一部ケースでの補足的な位置付けとしておりましたが、プレートの沈み込み方向の違いに基づく滑り角の変動幅を考慮して、
00:07:42	補足ではなく、すべての傾斜角のケースで、滑り角のプラマイ 20° のパラスタの解析パラスタを実施することとして、518 断層、遠州断層系についても同様に、
00:07:53	プラマイ 20 度の解析結果を、次のページ以降に掲載をしております。
00:07:58	最後 107 ページをお願いします。
00:08:12	はい 107 ページですが、地震による津波の評価結果の一覧となります。
00:08:16	滑り角のパラスタの結果、遠州断層系の代表ケースが今回変更となりまして、水位上昇側水位下降側ともに、滑り角が 160° のケースが最も影響が大きいケースとなりましたが、
00:08:29	御前崎海脚西部の断層体の津波が海域の活断層による地殻内地震の津波の最大ケースであることに変更はありません。
00:08:37	本編資料の修正箇所につきましては以上になりまして、今回補足資料については修正はございません。
00:08:43	説明は以上となります。
00:08:49	はい規制庁それだけ説明ありがとうございました 2 回目のヒアリングというところで、
00:08:54	もらって前回からの修正ということでもありますけれども、
00:09:01	どうしますかねページの若井。
00:09:04	方から、
00:09:05	ということで、前回はヒアリング聞いてないですけど 9 ページこれも本当細かい事なんで一番最後でもよかったんですけど、
00:09:13	あんまり中身という話じゃないんですけども前回の会合のときにも、
00:09:18	これ少し、海洋プレート内地震のこの漫画の位置は、
00:09:22	ちょっとこう海溝軸。
00:09:25	なんじゃないですかねという話をしている、
00:09:28	せっかくなんでこのタイミングでバンドが直ってるのかなと思ったんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:32	いやここの、当然、パラスターをやって売っていくときには多少位置的にもうちょっと陸側っていうパターンもあるのでしょうか、あんまりここだわらない。
00:09:43	ところだと思うので、さくっとを直しておいた方がいいんじゃないでしょうか。
00:09:48	ということだけは言うておきます。
00:09:51	仲井門馬でも何か一応、少しく動かしていくと、位置を動かしていくときに、たまにこういうようなものもあるのでと言いつつ、何か直しますと言ったような気がしたんですけど。
00:10:04	はい。中部電力の盛です。やや右にはしたつもりで、実際やって、
00:10:11	ているのが
00:10:13	例えば 44 ページで、
00:10:18	海洋プレート内地震の津波評価の概要ということでつけているんですけども、
00:10:27	南海トラフの下に沈み込む、海洋プレート内地震等、あとそれより沖合のということで銭洲断層系の甲斐折田大真、こちらを想定して、
00:10:38	評価をやっていっておりますので、今の緑で書いたのは今この絵だと赤の方で書かれているような、海溝軸あたりにトラフ軸辺りに沈み込んでいく線ということで、
00:10:50	大体これぐらいのイメージかなということで前回もちょっと深いところにあったので、やや右にはずらしたつもりです。
00:11:05	はい NIPPO は、海溝軸付近にあるってことですよ。これちょっといいですか。はい。
00:11:11	規制庁の松田ですこの議論は、
00:11:15	海洋プレート内地震というものについてのイメージがちょっとね、
00:11:21	なんにもない状況で該当プレート内地震と言われると、特に
00:11:27	日本海溝沿いのサイトでは、
00:11:31	RISE の
00:11:34	清断層地震なんですよ。プレート沈み込むプレート内地震というのは、御社のこのプレートは逆に圧縮場の逆断層ですよ。
00:11:43	加茂緑も銭洲の、その辺のイメージは、もう最初にきちっと説明していただければ、
00:11:51	今鈴木が持っているようなイメージをきちんと説明できるんだと思うんですが、その辺いかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:12:03	はい。中部電力森さんありがとうございます。おっしゃる通りで、
00:12:07	鈴木さんがおっしゃられてるの多分、イメージとして皆さん、やっぱり日本海溝側の、アウターライズで起こっている正断層型の地震というのが多分イメージにあるので、もうちょっととかじゃないのかってということをおっしゃられているんだなというふうに感じております。で、
00:12:19	実際に評価しているのは我々として調査の上評価してるのはこの9ページのイメージではあるんですけどもちょっとそこを繋ぎとかいうかですねいきなりこの絵を見せられると。
00:12:29	だからちょっと印象と違うんじゃないのかなということをおっしゃられているというふうに理解してました。理解しましたので、少しそうですね。どういう評価をやっているのか。
00:12:39	日本海溝とはちょっと違ってこういうところを評価してますとか何か、元の方でもわかるように、少し社内で検討させていただきたいなと思います。はい。ありがとうございます。
00:13:06	本題が20ページからということで、
00:13:11	ロジックが変わって、
00:13:15	御説明は変わってないんですね結局
00:13:18	いわゆるひずみが蓄積できているか準備が、準備過程が整っているかというところが
00:13:26	違いですという説明で、
00:13:29	左側事前にプレート間の地震、M9の地震が起こっているときに、
00:13:36	事前に内陸地殻内だとか、海洋プレート内だとか、のところで十分にひずみが地区されて準備が、いわゆる単独で評価してるような規模ですね。
00:13:46	驚見が蓄積されているかというところが、
00:13:49	そこがそこまでは、当時にはなかなか起こるのは考えにくいだろうという、そういう話で、
00:13:57	あると。
00:13:58	麻生の説明は小玉前回から特に変えてきてないかなと。
00:14:02	説明文もですね変えてきてないかなと思いますけど。
00:14:10	右側の組み合わせる場合はということで、あくまで分岐断層、
00:14:15	この延長線上で考えていますと。
00:14:19	今回多分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:14:21	説明としており成でどんどん出されていくのが今回の会合でされていくのが 11 ページからのところで、
00:14:30	これイメージとしてはあれですかね、11 ページの図これ前回ヒアリングもあったんだと思うんですけど、
00:14:37	この
00:14:38	付加体、古い付加体新しいところから、この古い付加体って書いてある辺りのところまでが、こういう分岐断層というところのイメージで、
00:14:51	今回組み合わせ対象にするのはさらに深い、
00:14:54	古いか古い負荷保つとかなくなっていく課題ですね、それかもしくは過去の付加体が、当構築管理規程、こういうところは、
00:15:05	分岐断層ではなくて、海域活断層の地殻内地震を起こすような断層、
00:15:11	ただ、もともとはもっと沖合の今分岐断層があるあたりにあったものであるからして、そこはあんまり切り分けない。
00:15:21	その辺りって、今英語 18 とかああいうものっていうのは
00:15:28	昔この古い付加体のような場所にあったときには、この分岐断層、
00:15:33	だったっていうそういうところまでのものではないですかね。
00:15:37	昔は分岐断層だったけど今はそのせ、独立してみずからも動けるような岩相になったとかそういうことではないですよ。
00:15:44	説明としては、
00:15:46	はい。中部電力の盛です。位置関係としては 11 ページで言うと、
00:15:53	ABC と時間経過があって C が、現在の姿なんですけども、
00:15:58	不破坂というふう書いてあるところの B とか C とかってのちょっと書いてあるかと思うんですけどそのあたりの断層の話になりますので、分岐断層、
00:16:09	昔の当然付加体ではあるんですけども古い噴気断層と関係が関連があるというような断層ではないと思っております。
00:16:23	何だ、左の図は、
00:16:27	A のとき、A やな。
00:16:29	AB と新例がないのかこれ。
00:16:34	大文字の A はないんだ。一番上でトラフ軸だったのが、
00:16:40	次の真ん中時間経過して真ん中になるとトラフ軸は別のところであって、
00:16:50	引き続き、小石線これ赤い線はあれですよ。時間経過とともにこの赤い線は同一の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:17:00	ものを指していて、元トラフ軸だったものが、
00:17:04	時間経過とともにトラフ軸が、
00:17:07	当然場所が沖合になるのかずれていって、
00:17:11	旧トラフ軸の分岐断層になる中ということでもないのかな、事細か線の意味が、
00:17:18	わかんなくなりましたがちょっと教えてもらいたいんですけど、これ中部電力の盛です。
00:17:24	一番上の、すいません図が多分、が欠けてるだけだと思いますけど ABC というふうになってますんで、旧トラフ軸の
00:17:32	のですね、トラフ軸の全面にどんどん、付加体、付加性能、沈み込みみたいなので、負荷がされていってだんだんトラフ軸が前面の方に移動するというのが、BC というようなところ。
00:17:44	で、赤線のトラフ軸というふうに、一番で書かれているところが付加されることに伴ってやや、
00:17:52	B で高角になりながら、
00:17:55	プレート境界の破壊の 1 形態ではあるんでしょうけども分岐断層というようなものに近づいていくというのが B で C でより広角になってると、江藤。
00:18:05	最近の研究だとこの分岐断層の位置自体が、昔のプレート境界よりも形を変えてややより高額になっているというようなことも言われているということがこの論文では、
00:18:16	メインの話になってるので、こういうふうにちょっと点々がさらに高額になってますよというような紹介はされています。いずれにせよこういうトラフ軸付近のプレート境界、もしくは分岐断層というのが、沈み込みに伴って、
00:18:32	徐々にプレート境界の破壊の 1 形態として形成されていっていると、いうようなことを示す文献と考えています。
00:18:40	わかりました。それから一番下のやつだと赤い点線の部分の方から、これは一番上、
00:18:47	A の一番上のルール、ラージですかね一番上のトラフ軸だったものは一番下のラージ C の図だと。
00:18:55	赤い点線のところがだから最初のトラフィックということで、
00:19:00	そうすると、
00:19:02	やっぱり海域右の海域活断層による地殻内地震を起こしてるような

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:19:08	何というか、18 とかを前田海脚西部とかっていうのは、
00:19:14	だから分岐ダンス、ここで左っていうのこの分岐断層のようでき方をしたわけではなくて、
00:19:21	当然その分岐断層でもっと内陸側に、
00:19:24	もともとあった傷。
00:19:26	断層系っていうそういうことですねはい。
00:19:34	はい。中部電力の盛ですおっしゃる通りですけど、
00:19:38	右の図も左図もちょっと個人と、右の図と火炎隆起体というふうに書いてあるようなところもあると思うんですけども、沈み込みに伴うプレート間地震ですので、
00:19:49	一緒に動いていれば何らかの構造を作ってくるというようなところがありますんで、分岐断層であればこういう持ち上げることによって外縁隆起を作ったりだとか、トラフ軸であれば当然、沈み込みの境界ができています。
00:20:01	というようなところが地形的に現れているというところと、一方、それよりも違うの、海域の活断層についてそういう構造的なものが見られないというところから、分類を判断しております。
00:20:16	はい。
00:20:18	あとは今回少し足してきたのもその値と、
00:20:24	いわゆる地学的背景とその発生要因の因果関係みたいなところ
00:20:28	地学的背景の違いを、14 ページ。
00:20:34	てるんですが、これは、
00:20:39	これは、
00:20:41	南海トラフと日本海、
00:20:46	その値がいい。
00:20:53	というと、何となくこの説明って、須磨最初、寺本でも少し言ったんですけど私は、
00:21:00	これ、南海トラフ沿いの浜岡のところで想定すべきプレート内地震というのは、正断層型ではなく、逆断層型ですってという説明としてはわかるんですよね。あんまりこの組み合わせるか組み合わせないかの、
00:21:14	違い。
00:21:15	組み合わせをするかしないかの何か違いの、
00:21:20	流れとは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:21:22	関係なさそうな気がするんですけど、これは南海トラフでは組み合わせない。
00:21:29	半端トラフは組み合わせる必要がないっていう、そういう違いの説明なんですか。
00:21:37	に、
00:21:38	これ、ここで使う説明なのかなというわけなんですけど。
00:21:44	はい。中部電力の盛です。こちらの13ページの説明の1、
00:21:50	続きということで14ページ置いてまして、まず13ページのところで、
00:21:58	プレート間地震とかプレート内地震、プレート管理者が起きた後にどういいう海洋プレート内地震が起きてるのかというのを事例として3.11の事例を載せております。
00:22:07	で、こちらの13ページでは、
00:22:12	一番早くても40分後に起こった事例が正断層型の海洋プレート内地震が起こった事例があるということで、そちらを紹介した上で、津波評価上、
00:22:24	40分後に発生しているということなので、津波伝播が、外付近まで達している程度ということを見ると、同時発生して松波が重なり合った事例ではないというふうに考えていると。
00:22:35	いうことを記載させていただいてます。で、その上で14ページの方では、そもそも事例としては、引用し、しておりますけども、日本海溝と南海トラフでは、先ほど松江さんからもあったような、起こるような、
00:22:49	そもそも起こるような通われてない心が間違っていると。で、13ページの方でも、記載しましたがその伸張場、もともと正断層型の地震が起こるといような伸張場の影響に、
00:23:00	東北地震の地殻変動の影響も重なったのではないかとされているという中で、同じように、地震の直後に報告と同様の正断層型の地震というのが起こるといことは、
00:23:13	地学的背景の違いから考えにくいということを整理しているものです。
00:23:20	すいません。組み合わせるか否かの判断に使っている。
00:23:25	その医学的背景と、その因果関係がちょっと正確に言った方がいいのかなガイドの言葉を、
00:23:33	ガイドで二つ書いてありますけど、それをこの10ページからの説明でそれぞれ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:38	どれはどっちの説明をしているのかって、この間のヒアリングの時にも そこそこ整理するようにしたつもりなんですけど。
00:23:46	ちょっと待ってくださいね、かいいと。
00:23:50	解釈別記をあれかな。
00:23:53	見てもう1回読まないですよ。
00:23:56	規制庁サービスですよ。
00:23:58	ぱりですね、もう1回ちょっと確認させていただきたいんですけど、当 然その別記3とか、ガイドもそうなんですけど、地震発生様に係る敷地 の、
00:24:09	違ってき背景及び津波発生要因の関連性ですね、これを踏まえて、
00:24:15	ということが書かれていて今日加藤さん、冒頭にもそういう、
00:24:20	そういうことを踏まえて今こういう資料を作りましたというご説明があ ったと思うんですけど、じゃあ、
00:24:27	その二つある何か上で、一つ目がどこに対応していて、二つ目はどこに 対応しているのか。
00:24:35	というのが、ちょっと今の資料から見るとこう、ごちゃごちゃとこう 二つが一緒になっているように、私はちょっと今資料を見ているんです けど。
00:24:46	明確にその辺りって、
00:24:49	このページが、
00:24:50	まさに、前半の部分のこと言ってます。
00:24:53	このページがまさに後半の部分と言ってますみたいな、
00:24:57	そういう示し方でされてますってちょっと教えてください。
00:25:06	はい。中部電力の盛です。
00:25:09	今しがた衛藤鷺さんおっしゃられたというか一番初めに説明をさせてい ただいた地学的背景、関連性のワードを入れ込みながら、
00:25:20	どういうふうに整理してるのかということについては今回整理して参 りました。で、10ページには、そういう関連性の観点からということ で、記載を少し修正させていただいていると。
00:25:31	いうところと、関連性ということについては、
00:25:37	すいません、10ページ11ページが考え方で、12ページから根拠という ことで、12ページとあと13ページですね、こちらが関連性に関して整 理したところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:48	での根拠ですね、14 ページが、それに加えて地学的背景がどうかというところを、13 ページとの関係で整理させていただきました。
00:25:58	で、12 ページ、ちょっともう少し、どこがどう対応するっていうのかというところはわかりやすくさせていただく余地があるかなと思っておりますけれども、12 ページは、破壊伝播に関する既往の知見、
00:26:13	山国の検討などから、当社としてはプレート間地震の破壊伝播によって海洋プレート内地震が発生するというような関連性がないとする知見というふうに考えられるというふうに整理しています。
00:26:25	13 ページも、事例から
00:26:32	プレート間地震が海洋プレート内別の海洋プレート内地震がプレート間地震に伴って発生すると、というような、関連性があるというような知見ではないということを事例としてお示しさせていただいています。
00:26:43	14 ページは、
00:26:46	東北の知見なので、地学的背景が違うので、より行為にくいのではない考えにくいと同じようなことが起こるといことは考えにくいのではないかというようなことを整理させていただいているというページになります。
00:26:59	ちょっともう少し関連性はもしくは視覚的背景というところが見えやすくすることは、もう少し余地があるかなというふうには感じております。はい。規制庁サービス今、ご説明あったんですけどやっぱり私は、
00:27:12	ピンとこなくて、
00:27:14	少なくともですねもうタイトルが悪いのか、文字が多すぎて結局よくわかんないのかちょっとわかんないんですけど、
00:27:22	少なくとも、
00:27:25	プレート間地震と少なくとも、プレート間地震とその他の地震の組み合わせっていうことに関して、
00:27:32	9 ページとは違う。9 ページは違うのかなあ。
00:27:36	結局どのページがそれに該当しているのかっていうのが、
00:27:40	少なからず、14 ページまでなのか、15 ページ 16 ページも含めてなのか。
00:27:47	ということなんですよ。私が言いたいのは、おそらく 14 ページじゃない、15 ページ 16 ページも含めて、こうだから、プレート間と海洋プレートは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:58	組み合わせを考慮する必要がないんです。一方で、16 ページで、海域の活断層はこうこうこういうことから、
00:28:08	組み合わせを考慮しますっていうのが、さっきの大きな二つのですね。
00:28:14	自学的背景とか、発生の関連性ですね。
00:28:19	これから、じゃあどこにそのまとめがあるかっていうと、やっぱり、
00:28:23	バラバラとあるだけで、
00:28:25	私はこの資料から読めないですね。
00:28:29	だから、そこをもう最後の、この組み合わせをこうこうですよと、地震ですね、あくまでも地震に対してプレート間地震とその他の地震の組み合わせ、これに対してはこうですというちゃんと結論が、
00:28:42	もう 1 回どれなんですか、っていうのを教えてもらっていいですか。それぞれプレート、海洋プレート内と。
00:28:48	内陸地殻内。
00:28:51	の、海域の活断層ですね、これも含めて、
00:28:55	どこに書かれているか、どこにまとめられているかっていうのを教えてもらっていいですか。
00:29:04	はい。中部電力の盛です。す。
00:29:07	両者の時含めた結論結論というか方針。
00:29:11	考え方と評価方針として 9 ページにまとめております。
00:29:16	で、ちょっとその根拠の紐づけがやや甘いのかなというふうには考えています。で、
00:29:35	規制庁佐口さんは、一応 9 ページを見ればそれはわかるということですね。その先の 3 も二つ、二つ。
00:29:43	二つ、実質、地学的。
00:29:47	なものと、
00:29:49	それから関連性、これを含めて、
00:29:53	ということで、今の盛さんのご説明だと、
00:29:57	まとめて書かれているのは当然 9 ページこれはもう以前から私も承知していますが、
00:30:03	基準規則とか照らし合わせて、本当に
00:30:07	だからこうなんですよというふうにまず書かれているかどうかっていうと、
00:30:11	さうどうかなというところと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:13	それから、ちょっと細かいこと言いますけど、12 ページとかってこれタイトルって、
00:30:21	大きなタイトルですよ、プレート間地震と海洋プレート内の同時発生に関する知見。
00:30:27	言うんですけど、
00:30:29	これ、
00:30:31	そんな内容じゃないですよ。
00:30:34	と思ったんです。
00:30:36	あくまでもこれは分岐断層。
00:30:39	でこういうのがあってそれで分岐断層を伝わって、
00:30:43	要は
00:30:44	プレート間が発生したときに、分岐断層がに伝わってそっちも破壊して、ましたよという事例ですよっていうだけを書いていて、
00:30:53	海洋プレート内地震との同時発生に関する知見じゃないですよ。
00:30:58	でもそれって多分、その後ろのさらに 13 ページとか、14 ページとかそういうのも含めて、その何て言うんすかね。序章というのか。
00:31:08	そういう話。
00:31:11	という位置付けなのかなとも思いつつ、でもやっぱりこれタイトルとない中身って違いますよねと思ったりですね、やっぱりちょっとこの、
00:31:20	うん。
00:31:21	10 ページから、
00:31:25	だからごめんなさいね。
00:31:26	14 ページなのか、15 ページ 16 ページまで含めてなのかがちょっと私にもよくわからないんですけど。
00:31:34	そのあたりの、
00:31:36	プレート間地震とその他の地震の組み合わせについて、
00:31:40	どう検討するんだ。
00:31:42	組み合わせを考慮する必要があるのかないのか。
00:31:45	そのあたりがやっぱり今の資料だと、
00:31:50	ちょっと私は少なくともわからない。
00:31:53	多分さ、大森さんももうちょっと
00:31:55	少しも整理する余地はあるっておっしゃいましたけど、
00:31:59	ここが、結局、この後で、結局これで、
00:32:03	海洋プレート内は組み合わせを考慮する必要がないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:09	詳細パラスタ含めて、パラスターはやりませんという方針ですよね御社は、
00:32:15	これが確定しないと、後も結局いいのかどうかという、
00:32:19	判断できなくなるのでこって結構やっぱり重要なと私は少なくとも思っていますので、
00:32:25	ここはもうちょっとですね。
00:32:28	わかるような資料を、
00:32:34	資料というか、資料構成というか、にさせていただいて、だから、海域の活断層は、組み合わせ考慮します。なので普通に、
00:32:44	ばらさ含めてやります。
00:32:46	だけど、
00:32:47	海洋プレート内地震については、組み合わせを考慮する必要がないので、
00:32:55	プレート間地震との比較で、
00:32:57	十分これは小さいもんなんで、これでいいでしょうっていう。
00:33:02	説明をされたいのであれば、
00:33:04	やっぱりここはきちんとご説明いただきたいと思いますんで、
00:33:08	もうちょっとここは整理をお願いしたいと思います。
00:33:13	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。
00:33:17	衛藤。
00:33:20	それが10ページですべてをまとめ切ってるわけじゃないところがちょっと問題で衛藤。
00:33:26	10、
00:33:27	9ページから入りですと10ページをもって、イメージとして持ってきてしまってるんですけど本当の海洋プレート内の組み合わせに関するまとめとして今全部話があった15ページですかね。
00:33:37	に、
00:33:39	考え方ということで、ちょっと整理させていただいて、こちらにすべてまとめています。1ポツ目でどういうメカニズムを、関連性が、を考えて考えるのか。
00:33:51	2ポツ目の方で、破壊伝播としては、地学的背景や、関連性を踏まえてどういうものを考えるのかというところをちょっとまとめておりますんで、この入りか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:34:02	ちょっと10ページですべてまとまっているわけではなかったということも、
00:34:07	問題かなというふうに考えておりますので、ここからの紐づけとし、作りとしての紐づけとしてここから10ページから14ページにそれぞれ飛んでいくというようなイメージですので、
00:34:18	その紐づけがわかるように、一番初めの方に概要がわかるようにということをし、少し整理、再整理させていただきたいなというふうに考えています。
00:34:29	はい施設長佐口ですここがやっぱり地震による津波の、
00:34:34	評価全体にもか関係していく機能になる部分ですのでそこはちょっとよろしくお願ひ。
00:34:40	したいと思うのと、ちょっとあんまり議論になるので、どうかかなと思ったんですけど15ページも結局、海洋プレート内に関する津波報告方針って書かれてますけど、その最初の一番最初の出だしが、
00:34:52	これ、
00:34:53	プレート間地震とその他の地震の組み合わせなんですよ。これ、いわゆるその海域の活断層のことも入っちゃってて、
00:35:01	で、その16ページっていうのはあくまでも会議の活断層、
00:35:04	に関する津波評価の方針なので、これはあくまでも海域の活断層に特化した形で、ある程度こう書かれてるんですけど、
00:35:13	その辺りも含めてだから先ほど私が、
00:35:16	何ページまで含めて結局、
00:35:20	この組み合わせの話なんですかってお聞きしたのはそういうところもありますので、もし15ページを、海洋プレート内地震に関するその津波評価の方針と、
00:35:30	する。
00:35:30	のであれば当然ながらここは海洋プレート内、
00:35:34	に特化したような形で書かれるべきだと思いますし、
00:35:40	粗相じゃなくて、あくまでもこれは組み合わせの中のひとつ、
00:35:45	最終的な結論なんです、組み合わせを考える海洋プレート内はこうだから組み合わせを考慮しなくていいんですよということをおっしゃりたいこの、
00:35:55	まとめの部分であればそういう形できちんとまとめていただければと思いますし、そこは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:01	ちょっとコース構成というのか、整理ですね、しっかりお願いしたいと思います。
00:36:07	はい。中部電力天野でございます。ありがとうございます。衛藤。
00:36:12	収集してきた知見だとかですね考え方自体が変わるわけじゃないですけども佐口さんおっしゃられた通りちょっと、
00:36:19	その地学的背景だとか関連性をそれぞれどう考えてっていう整理がなくてはバラバラとしてるのは、頭越しご確認いただいて非常に感じておりますので
00:36:33	まとめ方のところ、特に森が申し上げた通り、ちょっと説明順であったりというところもあろうかと思うんでちょっとここは、よりわかりやすいように、再考して参ります。
00:36:49	傾聴すべきはい。行きよろしく申し上げます元印象で言うと、
00:36:54	多分地学的背景って、冒頭でまとめられていない、大分端折られていて、ほとんどその発生要因、
00:37:01	その説明していく中で、何か所々に地学的背景、
00:37:05	例えばこの、
00:37:06	深田八田地域で分岐断層があったとしてさらにその近くにも同じような走向傾斜の断層があつてみたいな話とかは、何か話の途中で所々出てくるし、プレー、逆断層系の
00:37:19	プレート内地震が発達するような、地学的背景ですっていうのを多分14ページにいかないと、そうで初めて出てきてるっていう、何か3000そういう説明なんだと思いますし、
00:37:29	ここは当然、地震による津波の説明なんで地すべりの地学的背景なんかはないですけど、この場合はやっぱりそのサイトの、
00:37:38	海溝軸からサイトの間にも多数のかつてって書いて入り滑りがあるというのが、多分敷地の地学的背景で、発生要因の関連性というのが、圧縮地震の揺れによってそれは、
00:37:49	すぐ崩れますという、
00:37:51	何で関連性があるんで組み合わせますってというのが多分地すべりの説明だと思うんですけどね。
00:37:55	ちょっとそういうところがなかなか、この海洋プレート内とか、海域活断層のところ、
00:38:01	クリアに、基準との関係でクリアになってないということだと思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:06	はい。あと 17 ページなんですけどねこれは補足という形で結局ここは地震と揺れの、
00:38:16	これによって御社だと動的なんですけど、応力が変化することによって起こるっていうのはそこは組み合わせて考慮しないだけでも、
00:38:26	ただ、実際に組み合わせの、する検討の範囲、時間軸としてはその結局地震動の継続時間で、
00:38:34	ということで、これ実を見ると、断層位置にプレート間地震の破壊が伝播が到達した時刻だけでなく保守的に、
00:38:42	で言っているということは、これ破壊開始点を、プレート下の方ですね、破壊開始点をどこに、どこのパターンであるかとか、破壊伝播速度がどうなのかとか、
00:38:54	今度その活断層側の方の破壊がどこに伝え、どこから繋がってどこから活断層破壊が始まるかって、
00:39:01	結構パターンいっぱいあると思うんですけど一応これは、
00:39:04	破壊開始点とか破壊伝播速度とかいろんなパターンを考えてみても、一応この地震動の継続時間、
00:39:13	の間にスポット収まる。
00:39:17	という説明なんですかねこれ高校の。
00:39:22	右側ですね。
00:39:24	高い電波が到達した時刻だけでなく保守的なんで、
00:39:28	当然は見れないっていうことですかね地震動の継続時間の範囲を、よりそれよりもっと早く、
00:39:36	来ることなければ、明日される遅くなることもないっていう。
00:39:45	はい。中部電力の盛です。
00:39:49	まずプレート間地震の津波評価の中で
00:39:54	破壊、
00:39:55	破壊開始点の検討もしていて、市によってプラスマイナス 1 メートルぐらいの差が出てきていると。
00:40:03	何で最初とされて 2 メートル下がったかと思えますけどもその中で一番厳しいところを選んでいるというところで、そこは繰り返しとして検討を地すべりも増しております。で、地すべりは右側の図のところ、X というふうに地すべり位置まで緑で引いてますけど、そこからここま

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:40:22	到達してから、地震継続時間の中で、次、時間差の検討をしていると、 で、
00:40:28	破壊伝播ということだけを考えると、活断層の方は破壊開始から X 切ろうへと破壊が伝播して、その時に破壊するという 1 時刻で破壊するということのやり方も
00:40:42	分岐断層の方も考えるとあるとは思いますが、
00:40:46	一方で地すべりの評価の方では組み合わせの時間差の検討もしているということもありますので、同じように組み合わせの中で検討するということにしたので、
00:40:58	その 1 時刻だけではなくて、もう少し幅広に時間差の検討をやり方としては地すべりと同じようにやることとしたということで、バンドを見たということで、
00:41:09	保守的な組み合わせの検討になっているというふうに考えています。
00:41:18	なんで破壊開始がおっしゃる通りあれ、プレート間の時には 6 ヶ所かな。
00:41:24	あって当然その中でプレート間としてほとんどその日推移として小さいような破壊開始までをここで多分検討の俎上に乗せるといったつもりはなくてですね。
00:41:34	ではないんだけど、
00:41:35	ああそうか、何で地震動の継続時間を、
00:41:40	何だ、一番スタートと一番最後有馬 1000t。
00:41:44	pH たった PS から、
00:41:49	PD までかで、
00:41:51	小中 TS よりも早く赤い電波が来ることはなくて PD よりも遅く破壊伝播が来ることないっちゃうのはこれ 100%いけますということですね。
00:42:02	はい。中部電力も
00:42:04	その通りです。地震動の方が早く来ますし、とかと言って破壊伝播が、
00:42:11	数分も遅れるということもないですので、ちょっとそこあたりは示させていただく必要あるかと思いますが、十分この範囲に入っていると考えています。
00:42:20	わかりました。そこは前提としてあった上で基地この保守的にってという言葉を使っていると。
00:42:27	はい。
00:42:29	ちょっとここも

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:42:32	説明としては追加されたわけですけど、ここで答えられます。
00:42:38	谷です。ちょっと素朴な疑問を教えて欲しいですけど、こういう中にライズタイムだとか、そういう概念とかは特に考えなくていいんですか。
00:42:55	はい。中部電力の毛利です。ライズタイム自体は破壊が開始してから、いつまでその、
00:43:04	ある地点の断層が動き続けているかということですね。
00:43:08	なので、破壊フロント自体はあまりライズタイムと関連がないというふうに考えています。
00:43:18	これは井谷ですあんまりこういうので今までの審査の経験の中でライズタイムがあって、さらにこう組み合わせるとさらに地震も含めをせるっていうことが今までなくて、
00:43:30	ちょっとできたらその辺の考え方も
00:43:33	何か示してもらえたらなと思うんですけどそれ全然見当違いの話なんですかね。
00:43:42	はい。中部電力の盛です。
00:43:45	このような検討の方法にしているというところの中での説明のちょっと充実化という中で、どういうふうに考えてるのか、ライフタイムを含めて、1度整理させていただきたいと思います。
00:43:59	電力浜野です前回の審査の中でも、一体計算でやることの妥当性みたいな話もあったんで、ちょっと我々が取り組むものを、
00:44:10	がこういうふうに妥当なんだっていうのは、今の谷さんのお話も含めて整理して、
00:44:15	組み合わせ方針の中方針組み合わせの評価の中で説明できるように準備して参ります。
00:44:26	はい規制庁佐口ですけど。ちなみになんですけど、これも教えていただきたいんですけど。
00:44:34	この PT ですよ。
00:44:37	これが、
00:44:38	150 秒って話ですけど。
00:44:41	何かなんかの、どうかわかんないんですけど、実際に地震動評価をおこなっているときに、
00:44:50	行う。
00:44:52	てるわけなんですよ。
00:44:54	で、その時の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:55	継続時間と比べて、
00:44:58	これは長いと。
00:45:00	いうことって確認されてます。
00:45:06	はい。中部電力の盛です。地震動評価の方でも、
00:45:12	振幅包絡線の形状特性についてこの野田の方を使ってますのでそこは整合させております。で、断層モデル法の方で言えばこれよりは格段に短いということも確認はしております。
00:45:27	はい、規制庁作業所長わかりました。
00:45:29	なので、基本的には、
00:45:33	距離、
00:45:35	距離もある。
00:45:36	距離もか。
00:45:38	消してくるんじゃないかった。
00:45:40	してこないのか。
00:45:41	なので、地震動の方でもちゃんと確認して、
00:45:45	おなじもしくはそれより十分長いということが確認されているという理解でよろしいですね。はい。
00:46:01	中部電力浜野です前回、評価方針で少しご説明させていただいた
00:46:07	今、試算としてやってる中では、ちゃんとこの間で、上に凸になってますのでこの150秒が多少変わっても、ちゃんとこの地震の継続時間の中で、
00:46:21	最も上昇するところっていうのは、今選んでるものでは掴めているっていう現状もございます。
00:46:52	はい。
00:46:54	そんなところ。
00:46:57	浜時間もあれなんで、プレートない海域活断層個別の方の確認を、
00:47:04	置かないとということで、
00:47:08	概要のページはあんまり意味がないんで、
00:47:12	プレート内の方は、中というと組み合わせるか否かの、
00:47:17	これで、特に前回会合で、
00:47:21	プレート内の方は、さっき言って、
00:47:24	その指摘というよりはもう組み合わせが必要なのかどうかというところだけだったんですけども海域活断層の方はこれ前回のヒアリングでも確認したんですけどパラスタアの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:35	根拠とかですね振り幅も含めて根拠ということで、
00:47:39	今回、更新してきたところ、
00:47:48	足がない。
00:47:52	はい、都会活断層 71 ページからですねこれで、
00:48:03	すいませんこれちょっと前回聞き忘れたんで、もう 1 回教えてもらいた いんですけど 74 ページ。
00:48:12	これ阿部の予測式のところで左側の検討フローって、断層長さが 22.5 か、より大きい小さいかで、
00:48:22	分岐する。
00:48:23	ですよ。これ一、基本的には、
00:48:27	これ、陸と海が陸域またがないと。
00:48:31	これ、
00:48:33	右の図ですよ評価結果とか書いてある、断層長さ L 海域の断層長さ L、これが一緒だったら、
00:48:42	左に分岐する、同じ断層で左に分岐する場合と右に分岐する場合って いうのが分かれなはずなんですけど。
00:48:48	ここ英語 18 って、一応これ、
00:48:52	地震モーメント側、2 種類あって、これ。
00:48:57	断層長さ L が 31.0 キロで、
00:49:02	出している地震モーメントの時にはこれは、左のフローでいうと右側を たどって行ってモーメントを出して、
00:49:11	今度は、
00:49:13	海域部の断層長さ 19.2 キロで、
00:49:16	モーメント出す時はこれは逆に左分岐フローを左側をたどって、モーメ ントを出してるっていう。
00:49:23	ここのフローと、評価結果のところに書いてある書き方だとそういうこ とだと思うんですけどそれで合ってます。
00:49:33	はい。中部電力もですかそういうわけではなくてですね、
00:49:38	まず、断層長さが 22.5 キロよりも長いので、右側のフローで、モーメン トまで算出しています。で、海域部のモーメントを
00:49:49	書いているのは、一番下の一番下かな。
00:49:54	※3 のところなので、地震モーメントの算出、当間阿部の予測式になり ます。わかりました。按分で、
00:50:03	出してるだけですね。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:07	ちょっとこれ、何、前々回ぐらいから、前の時に聞いた、はいはいはい。
00:50:11	左のフローは右のフローをたどって出した 31.09 のモーメントを、31 分の 119.2 で案分してたらはいすいません。
00:50:22	山下 D。
00:50:25	あと、どこだったかな、この
00:50:29	次からが個別の方で 75 ページは個別のモデルということで、
00:50:37	高齢は、
00:50:41	例えば前崎海脚西部とかって、何か北部と南部でそれぞれの長さがありますけど、
00:50:49	モーメントを出したり滑り量を計算するときはこの断層は、46.9 キロ。
00:50:57	この 1 本で、
00:50:59	モーメント出して、
00:51:01	滑りを出してっていうやり方でいいんですね、特に注釈ない。
00:51:07	はい。中部電力前沢のおっしゃる通りです。46.99 から算出しています。
00:51:15	D、77 ページの方かな。多分英語 17 の前のページも同じだと思うんですけど、
00:51:21	77 ページの方はこれは、飲酒断層系が 43.3 とこの西部中部東部であって、
00:51:30	これは、
00:51:33	下に多分米印が、
00:51:38	その谷の知見踏まえて、調査委員会の方法を参照し、
00:51:44	滑り量が概ね 10 名っていう、メートルを超えない。
00:51:52	これ地震調査委員会 2012。
00:51:56	滑り量が概ね 10 メートルを超えないって書いてるわけではなくて、
00:52:02	何か地震調査委員会の設定。
00:52:04	の設定方法で、設定方法が、鉄塔の設定方法を参照して、
00:52:10	ここから地震参照先のところにどう書いてあって自分たちはどうしてっていうところがちょっとわからないんですけど、
00:52:17	この地震調査委員会 2010 によるこの方法を参照する。
00:52:23	ということ自体は、
00:52:24	ただ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:26	御社の津波評価って一応土木学会 2016 の方法を用いて設定ってのが一番大きいものを枠があって、
00:52:34	長大断層みたいなものは地震調査委員会のこの 2010 の設定を参照しましょうよ。
00:52:40	というような考えはこれ土木学会 2016 にも入っている。
00:52:45	それともう、土木学会 2015 じゃないんで何か御社が独自に、この地震調査委員会 2010 にたどり着いて何か考えかたを求めて今この米印 1 に辿りついている。
00:53:00	はい。中部電力の盛です。土木学会自体に、長大断層をどう評価するかっていうちょっと具体まで書いてないので衛藤竹村氏がそもそも 80 キロぐらいまでしか適用できない式で、
00:53:12	ということもあって国の知見ということで地震調査委員会を参照しています。で、地震調査委員会自体は、地震動、どっちかっていう地震動の方なので松田式でこんなようなことをやっているというところのちょっと違いはあるんですけどもやり方としては、
00:53:29	こういうふうに区間を区切って、
00:53:33	それ、滑り量が極端に大きくなると 10 メートルぐらいで
00:53:39	頭打ちするというような知見を踏まえて、空間を区切って、一番
00:53:45	区間を切った中で一番大きくなるモーメントの総和の組み合わせどれだというようなことを検討するというのがやられてますので、そこを武村式で参照したということです。
00:53:56	もしくは中塚松田式で 4 倍、4 倍だったかな、何とかの 4 倍に満たない場合は、超える場合はみたいなのが多分あって、それを少し、
00:54:08	この竹村式を使うこの津波の評価のところで、何か似たようなことを置き換えてやってみたっっちゃうことですねこれ。
00:54:19	幅の 4 倍かな、何か幅の 4 倍に。
00:54:23	三田ない場合は、超える場合は、多分そういう場合だけだったような気がしますけど。
00:54:31	はい。中部電力も SD、式が違うので、同じやり方をして、もう滑り量が出てくるものも違うので、元の知見に立ち戻って行って、10 メートルぐらいで頭打ちすると。
00:54:43	というようなことを地震調査委員会も引いてますので、そこに立ち戻って 10 メートルより大きくなるといような、
00:54:51	基本同じことやってるちょっと式が違うので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:54	結果は一緒に、保守的にやってるといふふうに考えて、
00:54:58	あとこの地表変位が約 10 メートルで飽和するって話と、滑り量というのは、これが等々価値なんですか。
00:55:07	地表変位 10 メートルと数量、
00:55:12	Murotani の方だから、地表変位が、
00:55:16	2 メートルで飽和するっていうのと、
00:55:20	当社が滑り量が 10 メートルを超えないように、一定のこれは等価地。
00:55:36	はい。中部電力の地表変位等、
00:55:40	断層の中の差変位というのが一対一だみたいなこともこの室谷野間 6 に書いてあったと思いますんで、ちょっとそれを津波評価技術の中でもレビューしていたところが、
00:55:52	手法としてではないんですけど、この論文長大断層に関する知見としてちょっとレビューしてるところもあったかと。
00:55:58	あったような気がしますのでちょっと 1 回持ち帰って整理させていただきたい。
00:56:02	結局これ、竹村式が 80 キロで一応までっていうのが一応適用の範囲ですけど一応これ、今のやつ見ると、多分 3 分割しても 90 キロの間が入るんですけど、
00:56:15	これ、どこまでの検討したんですかね 43.3 なんで、西部、
00:56:22	中部&東部で分けるものと、西部中部と東部で分けるものと、
00:56:29	三つで分けたりとか何かいろんなパターンあると思うんですけど、一応、
00:56:34	の中で一番、モーメントとしては、モニターで滑り量としては一番大きくなるパターンがこれでしたっていうことなんですかね今の。
00:56:42	一番保守的なものを選んだとおっしゃってたんで、
00:56:46	はい。おっしゃる通りです。地震調査委員会でもそういうように、分割をいろいろ組み合わせを考えてみて、一番大きいものを選ぶというふうになってますのでそこに沿ったやり方をしております。
00:56:57	うん。
00:56:58	刀禰多分こういう
00:57:00	土木学会でこうしましょうよと、ダイレクトに書いてあるわけではなくて、とは言いながら御社なりに考えて、独自にこういうことをやって、
00:57:10	いやこれで十分保守的な設定できてると思ってるんですけどっていう部分は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:15	うん。
00:57:16	何か 1 枚 2 基、この米印だから、書くというよりは 1 枚つけていただいた方が、
00:57:24	ここはいいかなと。
00:57:26	も言いますけどね。もう、
00:57:28	もう土木学会のやり方でありますとか、何かこのやり方でいいですって、
00:57:33	あとは自動的に決まっていくようなものはいいと思うんですけど。
00:57:36	本社なりに、ご指導 9 学会でここまでのことがカバーできていないんだけど、
00:57:43	自社でこう考えてただこういう知見を参照して、
00:57:47	やりましたというところは、少しくリアになるように、
00:57:51	本編に立つのかちょっと補足に飛ばして補足でより詳細な設定根拠みたいなですね。
00:58:00	こういう知見を参照してこういう設定方法でやってっていうのを、
00:58:04	いろんなパターンを計算してみたっていうのであればその結果も含めてだと、1 枚後はもうさわらないと思いますけど。
00:58:11	押し出された方が、
00:58:13	うん。またその米印で書いてあって、
00:58:17	何か補というところで、つまりかないかなと思いますんですけど。
00:58:22	当然今から検討する話ではなくて、多分検討した内容を紙に起こすだけなので、
00:58:29	別に補足に飛ばして、補足資料に一部、
00:58:33	プラスプリンターの設定根拠ということで出されるんでも結構ですけど、ちょっと何らかないとですね、この米印を見ながら、
00:58:41	多分この辺を参照したのかなと。
00:58:45	この辺を参照するとこういう考えに至ったのかなってちょっとこちら側も想像しながら、すいませんちょっと見ていたのでですね。
00:58:53	私もちょっと周りに聞きながらですね、ちょっとこうだと想像していたので、この辺はよろしいですか。はい。中部電力青野です。ありがとうございます。今都築さんからご確認あって盛が口頭では説明してるんですけど、確かに 77 の米だけではそれ全部、
00:59:09	当然読み取れないので、今、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:12	お言葉いただいた通りでちょっと補足かなんかに、実際やったことがわかるような形でもう、当然バックデータありますので、そのまま起こすという形で、
00:59:23	追加を考えたいと思います。
00:59:33	はい、わかりました。
00:59:35	そのあとがここの基本モデルと、或いはパラスターの話としてて、
00:59:44	ここはもう、
00:59:46	何とか評価フローみたいな話は前回 5 月 5 月、
00:59:50	5 月の会合で聞いているので、
00:59:52	蒸し返すつもりはもちろんないんですけどこれ社によっては結構この概略パラスタをやって感度を見てから詳細パラスタって海域活断層、日本海側ですよ。やってるサイトもあるんです一応多分御社は基本モデルを作った上で、
01:00:06	あとはパラスター一本
01:00:08	でも効く印象をパラスタでもう網羅的にやりますっていう。
01:00:13	やり方なので、あんまり
01:00:16	概略パラスタ詳細パラスタやってるところと、
01:00:21	直接は比較はしませんけど、
01:00:24	一応特に基本モデルの設定のところは前回のヒアリングから、
01:00:31	声ではない、いいし、前回の会合からも、根底の部分は、
01:00:39	すいません 5 月から特に基本モデルのパラメータは変えてはないですよ。ね説明をちょっと補足したっちゃうだけなのかな。
01:00:53	はい。中部電力の盛です。
01:00:56	基本モデルも、パラメータスタディも、今回、コメントとしてつけた滑り角を町 20° にしましたということから変更してはありますが、そこ以外の解析の
01:01:06	方針、
01:01:08	及び結果ですね、は変わってありません。
01:01:14	はい。なんで前回からの違いは、滑り角のパラスターを、
01:01:21	ジュウドプラマイ 10 だったものが 20 度になりましたっていうそこ。
01:01:26	だけです。ねあともう細かい転用はだったり、少し説明が足りなかったところにページを出したっていうのがあるんですけど、
01:01:37	終わりますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:39	ちょっとそういう意味で言うと、基本モデルの設定のところは、前回の説明から、こう変えてきましたというのではないわけですね。
01:01:50	84 ページのところで、始めて、
01:01:56	と重ね滑り角。
01:02:00	ここで初めて
01:02:05	前回からの、
01:02:07	御説明の差があると。
01:02:09	なんでそこら辺がねえ。
01:02:13	前回会合を踏まえて、ここは、
01:02:18	パラスタの範囲を変えましたっていうなら多分それはどこかにはっきり書いとももらいたいんですけどそれ各図と 84 ページ。
01:02:26	まで出てこないのかな。
01:02:29	ちなみに 84 ページの方でいうと何か右側の、
01:02:35	なんか、
01:02:36	図画の
01:02:38	黒い枠の中が、
01:02:39	矢印基準プラスマイナス 10 度の滑り角って書いてあって、これなんか古いままですかね。
01:02:49	傾斜角は基準プラマイ 10 度で変わらないですよ。
01:02:55	なんでちょっとこう、今回初回ではあるものを前回先んじて欲しい、コメントは出していて、
01:03:03	それによって、ここは変えました。
01:03:06	ていうところは、9 はっきりしておかないと何かまた 1 から説明を。
01:03:11	聞かない。聞くのか、一応前回方針は説明していて、パラスタのところでコメントがあったんでパラスター中心に今回の会合、次の会合で、
01:03:21	説明していくのか 1 から説明するのかなんですけど、
01:03:25	ちょっとこうな前回こういう指摘があったんでここはこう変えましたとかっていう
01:03:30	説明をされるのであれば、そこはどっかなんかどこを変えたのか、前回こうだったんだけどこうしましたっていうのは、
01:03:38	どっかでねはっきりわかるようにしていただきたいんでそれが 84 とかなのかなと。
01:03:43	もっと前のページのかもかもしれませんが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:48	はい。中部電力の盛さん、ちょっと基本的には初回説明だということであんまり変更点ということであまり記載してなかったんですけども 84 ページは、滑り角のところですね、マイナス 20 度等基準+20 度、
01:04:02	を追加してますので、そこにちょっと点線つけるなりして、ここを追加してますというのをちょっとわかるようにさせていただきます。で、一番頭のところのちょっと 5 ページ。
01:04:12	2 ですね、今回、
01:04:16	コメントとコメントを踏まえた対応ということで、
01:04:26	整理させていただいてまして、ここ丁寧に説明することとか詳細説明することというような内容ではあったんですけども、今回それを踏まえて、前回の参考資料ちょっと Web アップしてきていますんで、
01:04:38	その中で二つ目のコメントの対応として、
01:04:42	基準とする滑り角を±10 度から 20 度に変更してますということ一番頭の方で説明させていただくつもりであります。
01:04:55	わかりました。何で冒頭ページで説明元に、
01:04:59	触れた上で、中身を説明していくところでも、
01:05:03	84 ページとかで、ここが今回追加されたものですよというのわかるようにすると、はい。
01:05:10	あと個別のパラメーターの制定の仕方のところこれ、前回、
01:05:15	もう、
01:05:16	切っては、
01:05:22	パラスタの本ですね。
01:05:26	燃え尽きこい局。
01:05:28	でしょ。
01:05:31	うん。
01:05:35	んですか。
01:05:37	一応どういう、
01:05:39	はい。
01:05:40	乗り事でよっとかっというこの辺は特に書いて
01:05:44	結果、
01:05:45	結果な今回プラマイ 20 度の
01:05:50	結果がついてきてですね、
01:05:55	御前崎海脚の水量消化が 92 ページで、これはずっと今回、
01:06:02	滑り角を 20-20+20 まで振ったけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:10	一応、
01:06:14	チャンピオンケースは、これは、
01:06:17	特に変わってないわけですね。
01:06:20	形もあまり変わってないのかな。
01:06:27	518 も一応これも滑り角としては、基準マイナス。
01:06:34	重度のものが最大になってるんで上昇側ですけど、
01:06:38	遠州断層は、あれ遠州断層でこれ前回のところでも出てたんですけど、これが一応基準 - プラマイ 20° 。
01:06:48	マイナス 20 度の方が、
01:06:51	滑り角ですね、一応、
01:06:54	聞いて、
01:06:56	きていると。
01:06:59	ということで、あれ、これは前回も練習断層だけ前回もあれでしたっけ、マイナス 20 度出したんですけど。
01:07:07	はい。中部電力の盛です。前回出していません。江藤なので衛藤遠州断層系については一番影響が大きいものが変わっているというような状況で、
01:07:17	102 ページにパラメータスタディのまとめ。
01:07:22	をつけて、
01:07:24	いるんですけども、一番、松井上昇側では一番下にある遠州断層系 2 ケース選んでいますけども、いずれも、滑り角が ±20° 160° のものが、
01:07:35	選ばれていますんで、どちらかというところと影響自体は西部、
01:07:40	当 58 の方がやや大きいというところで、こちらは逆断層系なので、投球場に近いものが選ばれてきていると、というような結果になっております。
01:07:55	中部電力大賀です。前回の時は、会計の西部のところで、プラマイ 20 度が法則的な形で提示させていただいてました。
01:08:08	はいはい。今回ちょっと遠州断層系は少し結果わずかですけど、
01:08:12	このチャンピオンケースが変わったと。はいはい。
01:08:17	ちょっと先ほども触れたんですけど
01:08:21	いわゆる、
01:08:22	概略パラスタて書い概略パラスタ的なものを作って、ある程度その影響がありそうなものを当たりをつけて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:30	フリフリはもうこのぐらいにしましょうっていうやり方やってるサイトもあれば、法務省をダイレクトに下野パラスターを、
01:08:37	ポンとやってるんですけど、
01:08:38	これ西郷プレート間みたいに、何かパラスターやった結果こういう印象が特に効いてきたとか、
01:08:46	なんで、影響のあるような範囲でのパラスターできてるとかそういう考察は資料上はないんですけど、特に社内ではやられたりはしてるん。
01:08:55	ですから、もともとこの範囲でやると決めたんであとは計算機まわしては一番でかかったものがこれですっていうところだけなのか。確かに結果を見ていくとこういうようなパラメーターが塩基影響してくるんで、
01:09:09	確かに影響の観点でも、
01:09:12	パラスターは十分にできましたねというような、何か考察を社内ですれているのか。
01:09:17	そこら辺はちょっとやられているのか教えてもらっていいですか。
01:09:23	はい。中部電力の盛です。社内的には当然傾斜角は効いてくるというようなところと、
01:09:31	滑り角、この順番ですかね。で影響が大きいのかなということは、考え、検討してますんで、
01:09:39	ファン土木学会の方でこの順番でちょっと概略詳細というステップはあるかもしれませんが、この順番でのパラスターが基本になっているのかなというふうに思ってますんで、
01:09:49	ただ、我々としちょっと一気に網羅的にやっているのは、プレート間の時でもそうだったんですけどちょっと順番の議論。
01:09:56	で、どういう順番で言うのは正しいのかとか、どういうステップを踏むとそういうちょっと、
01:10:02	どの影響の大きい石から順番に振っているのかっていうのちょっと議論になって審査が時間かかるということもちょっと懸念があって、あまり順番ではなくて、すべて網羅的にやるというところで、
01:10:15	今関さんおっしゃられたように、今日、自分たちの中古家振り幅を決めた上でその中で、網羅的にやるというなことを試行して、このような資料にさせていただきます。
01:10:31	イタリアの総当たり戦で全部解析してるんで、
01:10:35	終わった後にどうこうではなくて初めに影響が1園を選んで、
01:10:41	もうあとは総当たりでやってますと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:10:43	ということなので、事後的に何か検討しているということではないわけですね。はい。
01:11:26	あ、ごめんなさい。
01:11:28	ちょっと滑り角との関係で少し除くと、
01:11:34	この間の文化、先行サイトと言ってもあまり太平洋側では、先行サイトがないんですけど、日本海がしかないので、なかなかその一対一では比較はしづらいところあるんですけど、
01:11:47	結構その日本カーム側のサイトってこうなんか使用力軸、省力の方向、
01:11:54	ていう方は何かこんなに。
01:11:56	その辺を見た限り、何かかなり特定されるようなものではなくて、結構バラバラとしていて、
01:12:02	いるような、一応あるんですけど、そこはやっぱり、
01:12:07	プレート境界に近い何ていうか御社のこのサイト等を、さすがに日本海がとっては、なかなかこの使用力の方向はどのぐらいまでばらけるかっていうのは、
01:12:17	ここはやっぱりサイトとして、特性として違いがあるっていう。
01:12:22	そういうことなんでしょうかねこれ。
01:12:27	はい。中部電力の盛です。
01:12:30	87 ページのところをちょっと使って説明させていただきますけれども、
01:12:36	日本海側のサイト省力状態というのは既往地震があるということでそのバンドで振るということをよくやられるのかなと思いますんで、
01:12:46	南海トラフが主、そもそもちょっと海域の活断層に関し、そういう自信がないので、そこから、
01:12:54	使用力の方向とか滑り角を推定するってのちょっと難しいんですけども、一方で、
01:12:59	この特性、南海トラフの特性として、沈み込み体で圧縮場が形成されているというのは
01:13:08	日本海溝側と日本海溝とか日本海側と違う特徴がありますので、そこから同じように使用力と、滑り角を推定するということを、今回追加させていただいているというのが、左下のような、
01:13:21	図になりますので、
01:13:24	意識を自信があるサイトだとこの B とか C とかっていうのがそのまま

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:29	過去の地震からも推定できると。で、我々のところでちょっと過去の地震はないんですけどこの A の方の沈み込みの方向だとかってのはきちんと計測されているので、そこのばらつきを考えて
01:13:41	日本海毎のサイトと同様な
01:13:45	掘検討ができるように、検討して追加してきたというものでございます。
01:14:00	これは、
01:14:02	ね、確かに、
01:14:04	ちょっと他のサイトの紙を見て、島根とかだと、
01:14:10	90100520 は、
01:14:17	ただこの辺りはなかなか大変なところで、
01:14:21	こういうなんつうか海域活断層のプレート間地震が、
01:14:25	祭典後支配的になるような、太平洋側で一般的にですよ。
01:14:29	あんまり海域活断層のところで、飛行詳細に評価していくような手法っていうものを、なかなか確かに検討されてるような文献もおそらくないんでしょうね。
01:14:40	ことで、
01:14:41	これから御社なりに考えて住まいやり方として設定したということですかね。はい。
01:14:49	ごめんなさい会社だけ。
01:14:53	後 18 の傾斜架空のところなんですけど、
01:14:59	これは一応基本係数、
01:15:03	は、御前崎海脚西部から借りてきて、
01:15:08	確か地震動のところが榎海脚説明ってあれでしたっけ。
01:15:13	当路。
01:15:14	どっキロまでは 6、60° 傾斜で、
01:15:20	6 キロから 8 キロまでのところは確か 35 キロぐらいの傾斜だというのが、ある程度終えていて、
01:15:27	ただ
01:15:28	深いところは一応基本ケース上はそのままにしてるんだけど、地震動評価の時には、
01:15:36	8 キロよりも深いところは一応す確かさケースで、もう少し、いわゆる面積がでかくなるように、25 度まで傾斜を緩くして、松波伊達力ちやうと多分逆だと思うんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:48	ていうところで、
01:15:50	一方で何か 17 でしたっけ、地震動、あちらの方は、何か不確かさケースの時には、
01:15:59	全く御前崎海脚西部と同じというよりは、多分もうそもそも浅いところも含めて、より保守、地震動評価上はより保守的になるように、
01:16:10	何か 25 度に全部 20 ごとに何か傾けたりとか、必ずしも基本係数、
01:16:17	或いはその不確かさケースも、
01:16:19	きちんとデータがあって、はっきりしている、御前崎海脚西部等借りてきている営業なんて同じやり方はしなかったと思うんですけど、津波の方は、
01:16:30	断層傾斜緩くすると逆になるんで、緩くしろと言ってるつもりは全くないんですけど、不確かさの幅、パラスターの幅っていうのは、これは御前崎海脚と。
01:16:42	同じ。
01:16:45	やり方。
01:16:48	振り幅っていうのは、これは津波の方では特に差をつけないって多分そういう考えなんですかねここは。
01:16:56	はい。中部電力の盛です。地震動側の方の検討は、浅くするというところもあるんですけども敷地に近づけるっていう観点で、断層、地質調査からわからない部分について、より低角にして、深いところが敷地に近づくようにというような思想で検討されております。
01:17:15	その意味では西部も 17 についても同じで、わからないところ、深い部分のわからないところについては、より低角にして面積を大きくすることと敷地に近づけるというような観点で検討されていると。
01:17:27	ものでございますんで、松波については、深井川があまり期間、そもそもバランスに効いてこないと、当然解明に近いところの動きが効いてくると、いうところと今鈴木さんおっしゃられたように広角にするほどということで逆洗数のところもありますので、
01:17:44	こちらの土木学会に基づきということではあるんですけども、全体、
01:17:50	わかってるところわからないと思う。夫馬含めて全体として、傾斜角を大体振っているというような評価上、津波にきくところを振っているというような考え方で実施しております。
01:18:05	天野です 17 はですね、もともと全然見えてるものがないっていうことで、仮想的に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:18:14	振ったってというのがちょっと特殊な形になってます。
01:18:24	17 と後 18 と御前崎海脚西部とでは、そのわかっているわかりぐらいが、
01:18:34	三つとも違うわけですね。
01:18:37	一番はっきりわかってる前だけキャクセイ分と。
01:18:40	少しわかっている。518 とで全くわからないいうなことで 17 の方。ただパラメーターとしては、同じく駒井海脚西部から借りてはきているんだけど、
01:18:52	もともとどこまで上がっていくかが違うということですか。うん。
01:18:57	はい。
01:19:01	大井。
01:19:07	はいはいはい。
01:19:10	あとすいません、ファラメーターこの辺り。
01:19:17	時間もあったんで、プレート内は、
01:19:20	時間があればというところで多分ほぼ、
01:19:23	前回の会合から変わってないので、
01:19:26	別途プレート海域活断層パラメーター他、
01:19:30	確認しておくこと。
01:19:32	大丈夫ですか。
01:19:35	そう。水口。
01:19:43	井口ですいません 88 ページのところちょっと、
01:19:47	すみません教えていただきたいんですけど。
01:19:49	すいません。基本ケースは、
01:19:53	活断層調査とかによるってあったんですけど、その活断層調査ってこの 88 ページにある。
01:20:00	東海沖海底活断層研究会とか、そういうデータをもとにという意味ですか。
01:20:09	はい。すいませんちょっと頭のほうちょっと聞き取れないので、基本ケースとか作るときに、活断層調査に、活断層調査結果に基づきとかって、
01:20:21	あと因習断層系だと 77 ページとかあると思うんですけども、
01:20:26	そういう時のその調査結果ってのは御社でやった結果が、
01:20:31	あと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:20:32	88 ページに東海置きかわっ海底活断層研究会をもとに作成ってあるんですけど、そういうところのデータを見てやられてるんですか。
01:20:41	はい、ありがとうございます中部電力の森です。基本モデルの設定は今根拠として 80 ページのほうに載せております。
01:20:51	で、
01:20:52	遠州断層系自体はかなり、敷地から離れた部分まであるだそうですので、自社での調査ってのはちょっと限界がありまして基本的には、
01:21:02	この辺りでやられている音波探査断面なんかを見ながら設定をしています。で、特に東海沖の海底活断層研究会のものは、まとめられていますので、こちらをもとに設定しているというものでございます。
01:21:16	はい、ありがとうございます。ちょっと 88 ページの、
01:21:20	滑り角のパラメータスタディの検討のところ、
01:21:24	見ていただき今回基本ケースは、
01:21:28	傾斜角 90° の 180 度って、もう本当に綺麗な右横ずれが設定されてると思うんですけど、
01:21:37	ちょうど真ん中の図のところですね、
01:21:40	辺滑り角は水平面に対して最大で 7% 程度みたいな書き方で、ちょっとやや逆断層センスが入っているのかなとも思うんですけど。
01:21:51	すいません。今回その基本ケース作った時に
01:21:54	180 度綺麗な右横ずれに、
01:21:57	として検討した結果って、どういう検討でそうなったのかなっていうところが、もし、ご説明いただければ、ご教示いただきたいんですけども。
01:22:07	はい。中部電力の盛です。こちらもう、きちっと決めてるわけじゃないんですけども 80 ページの方には記載させていただいてまして。
01:22:21	10 ページ 3 ポツ目ですね、
01:22:25	断層位置はというところのあとですね断層タイプの傾斜角についてはということ
01:22:32	遠州断層系が垂直に地下良いというふうに言うを書いてあって、そのあとですね、水平の速度の方が上下の変位の速度に比べても圧倒的に早く右よく売れて分厚さ。
01:22:44	卓越した断層であるというふうに記載がありまして、こちらからまずは基本モデルとしては滑り角 180° というふうに設定をしてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:53	で、細かくパラストどこまでやるかというのが、先ほど見ていただいた88ページの方に記載していただいて、記載しております。
01:23:02	はい、わかりました。
01:23:04	あとすいませんさっき下の、
01:23:07	図のところであの辺、滑り角の変動幅の、
01:23:11	表があると思うんですけどすみません、ちょっともう1回この見方を教えていただきたいんですけど。
01:23:17	この変動変動幅でプラマイ4、
01:23:20	てあるのは、
01:23:22	例えば、断層面①で、
01:23:25	傾斜角をプラマイ10度でいろいろやったときに、
01:23:29	167から160度までであるから、大体最大最小が7で、
01:23:38	その真ん中からプラマイ4っていう、
01:23:41	このぐらいの幅だから、滑り角全体に対してはプラマイ2度やっとならば、
01:23:48	保守的だってそういう
01:23:50	理解でよろしいですか。
01:23:54	はい。中部電力の森井です。
01:23:57	変動幅についてはおっしゃる通りで、ただエリアでは180で決めているというところもあるので、この最大値最小値として167度とか160度というところもあるので、
01:24:09	そこも見て変動幅は決めています。江藤植野は古閑沖。
01:24:13	二つ目のところで衛藤。
01:24:15	鎌田というところからこの検討した結果として滑り角が160から170°の範囲にあって、その変動幅としては2から4度ぐらいであるということを確認していますので、基準とする滑り角に対して、
01:24:28	±20°、滑り角の具体としては160から200°の範囲でプラスすることとしたと、というような方針にしています。
01:24:36	はい、わかりました。ありがとうございます。
01:24:44	規制庁の山下です。
01:24:47	最初の方のC湾のところの、
01:24:51	10ページとか、
01:24:53	えっとこっかな。
01:24:55	ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:56	12 ページ目のところちょっと確認させていただきたいんですけども、
01:24:59	この C 案のところの、資料というのは昆秦改めて作成し直すっていう。
01:25:07	ことだと思ったんですけど。
01:25:08	ちょっと確認できるところだけ確認させてください。まず箱書きの中の二つ目のポツの中で、
01:25:15	これ、いわゆるスクリーニングしてると思うんですけども、内閣府 2012 を引用されてると思うんですね。
01:25:23	このスクリーニングってやっぱり結構重要だと思うので、具体的にといったことが書かれていたのかなっていうのがちょっとお聞きしたかったところです。
01:25:32	まず 1 点目、そちらになります。
01:25:37	はい。中部電力の盛です。具体的にはこの 12 ページの右下の破線の部分ですね、で書かれていたことが内閣府の記載の内容になります。これはもうこのままは引用された部分ですか。
01:25:50	はい、わかりましたありがとうございます。それを踏まえて、矢印の方で、最後に考えられるというふうに書いてあると思うんですけども、
01:25:59	こちらについては、
01:26:02	何て言いましょう。
01:26:06	この南海トラフに関しては、
01:26:09	ということですかね。
01:26:12	それとも、そもそものプレート間地震と海洋プレートの関連性、
01:26:18	1、
01:26:19	一般的にそういえるっていうことがどちら。
01:26:22	について研究されてることなんでしょうか。
01:26:27	はい。中部電力の盛です。基本的には、南海トラフの津波評価に関してということだと考えています。
01:26:37	それですね、次に、
01:26:41	15 ページのところなんですけども、
01:26:46	広井箱書きの中で、
01:26:49	プレート、ここも先ほどとちょっと似てることだと思うんですけども、プレート間地震の津波と海洋プレート内地震の津波、
01:26:58	が、同時発生した、確認された事例がないっていうのは、
01:27:02	これも、
01:27:04	南海トラフ、限定されたお話なのか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:08	伴とは或いは一般的にこういう知見がないのかっていうとちらのことを指しておられましたでしょうか。
01:27:19	はい。中部電力の盛です。一般的には、そういうのが確認された事例はないというふうに考えています。衛藤。
01:27:27	すみませんちょっと12ページの方も、12ページですかね。
01:27:31	戻ってしまうんですけども、
01:27:35	2ポツ目の内閣自体は、南海トラフのプレート間地震と、甲斐プレート内地震との検討ということで別地震としているというような評価。
01:27:44	で、その1ポツ目の方は、南海トラフ東北沖でどういう検討がされているのかということ整理したものになります。ちょっとこちらの南海トラフと日本、東北しかないですけども、
01:27:58	私が収集し、探した限りでもあんまり
01:28:03	プレート間と、海洋プレート内地震とか連動して発生したっていうのが報告されている時ではないのかなというふうに考えております。
01:28:11	そうですか。
01:28:13	はい。
01:28:14	例えばですと
01:28:17	鷹巣。
01:28:18	調べられたということでしたとにかく何でしょう、エビデンスになるんだと思うんですが、何かの資料に、
01:28:26	ちょっとあった方が、
01:28:28	わかりやすいのかなと思ったんですけども、もし古い知見が、
01:28:33	いろいろ整理されたところですね。はい。
01:28:37	はい。
01:28:39	ちょっとコメントみたいになってしまいます。失礼しました。最後にちょっと17ページ目のところなんですけども、
01:28:46	右側のほうの黄色の箱書きの二つ目の箱書きのほうですね、これは甲斐で、破壊伝播が、海域活断層については、
01:28:56	プレート間地震の破壊伝播到達し付近で発生するっていうふうにかかれてて、
01:29:07	応力場の変化みたいなのかかっていうのは考えなくていいのかなっていうのがちょっと疑問だったので教えてください。
01:29:15	要は静的な、
01:29:17	変換、応力場の変化で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:21	誘発されるのか、これはどちらかという動的な、
01:29:26	もので、誘発されるものですねそれと次の那須。
01:29:30	方はどういうふうにお考えになってるのかなというのをちょっとお聞きしたかった。
01:29:35	はい。中部電力の森井です。10 ページの方でどういう破壊形態を組み合わせとして考えるのかっていうのを整理させていただいて、
01:29:44	おります。衛藤今おっしゃられたのは多分真ん中の地殻変動なんかによる静的な応力変化。
01:29:51	で、起こるもの、あとは麻痺、右側の動的な地震動で直接起こるものというのがあるのかなということと今、組み合わせとして考えているものとしては一番右側の直接の破壊伝播
01:30:05	で起こるものについて、津波評価上関連があるというふうに考えて考慮するということにしています。で、真ん中の、別の地震として発生することについては、ここでも説明させていただいておりますけれども、
01:30:20	別の地震として、準備の準備過程のメカニズムが必要ですので、そこまでの
01:30:31	余震が同時発生するというようなことは、評価の中では考えないということを中心、
01:30:36	ここの 10 ページのところへ整理させていただいています。
01:30:46	ちょっとまだ理解できなかったんですけど、考えないっていう、
01:30:52	お考えっていうのは理解してるんですけども。
01:30:56	そうですね。
01:30:58	困難ななぜかっていうのがちょっとわかよく何か理解できてないんですが、これは今後また、
01:31:05	この辺りの資料が変わっていく中で、
01:31:08	説明が、
01:31:10	拡充されてきてイメージですかね。
01:31:13	はい。中部電力の盛です。1 ポツ目 2 ポツ目辺りでメカニズムを記載させていただいてまして、一般的にということ、地震はその断層でひずみ応力が蓄積していくと。
01:31:26	で、それが局所的に蓄積できる限界を迎えた際に発生して断層上伝播するという現象だという、一般論の話と、別の地震として、真ん中の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:31:37	真ん中もしくは右左側の別の地震として同時発生するというような場合には、衛藤松波はせるような大規模な地震ほど、その準備過程が必要だと、あらかじめその断層それぞれにおいて、
01:31:50	応力ひずみが蓄積しているということが必要と考えることを踏まえると、大規模なプレート間地震の地震動もしくは地殻変動によって別の大規模な地震と、
01:32:01	というのが同時発生してそれが津波が重なり合うというような可能性は低いということから、津波評価上関連性が低いと考えて考慮しないというふうに整理させていただきます。
01:32:13	はい。
01:32:14	そう。そうですね。そうすると、今の、
01:32:19	うん。大規模地震に対してはっていうことになるってことですよね。つまり、大きな地震に対しては、連動は、なかなかやっぱり手術しにくいとそれだけ、
01:32:29	ひずみがたまるまでに時間もかかるし、
01:32:31	ただ、一方で、中小規模ってなったら
01:32:35	また話が変わってくるのかなと思ったりして、応力場が変化するとそれが、
01:32:40	発生が促進されるものもあれば、
01:32:45	発生が抑えられる場合も、
01:32:48	出てきて、
01:32:50	どっちに転ぶのかなってというのが、
01:32:52	よくわかんないところですね。はい。
01:32:57	もちろん中で地震動、強震動、もしくは津波を発生させるような地震については、これ、可能性が低いというふうに考えているということでございます。で、
01:33:08	その具体例として今回、13 ページ、
01:33:12	3.11 で、どういう海洋プレート内地震が発生したかと。
01:33:16	そういうことを整理させていただいてまして、
01:33:21	7年間分のデータで14 イベントぐらいが、は大きいものとして発生すると。その中でも津波を起こすようなということだと4 イベントあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:33:31	観測された津波最大値としては、1メートル未満だということを整理させていただいているということなので、大規模な地震について、同時発生、
01:33:42	してということを整理しているものでございます。
01:33:46	はい。
01:33:47	この13ページ目なんですけどこれ3、2011年トークの
01:33:54	与信たら、買い遅れてないでしょうか。
01:33:59	そっちのことで、
01:34:01	同じような形、こういう整理っていうのは、いろんなこれまでの大規模地震、海外のものとかっていうのも情報だと、あるってということですかね。
01:34:13	つまり、この西市徳のもの、南海トラフを結びつけるっていうのは、そもそも
01:34:22	性質が違うところなので、
01:34:24	遠くの声をお願いしているのはおそらくその1例として、
01:34:30	挙げていただいたと思うんですけども、その他の事例に対してどうなのかなってのはちょっと気になったところですね。それで先ほど
01:34:37	沖様のものについてもいろいろお調べになってるってということだったと思うので、同じようなこういったものがあるのかなというのがちょっと気になったところでした。
01:34:47	今日見たの。
01:34:49	履歴ですね。
01:34:52	はい。中部電力の伊井です。余震に関して海洋プレート内地震ですね、海洋プレート内末吉2回ちょっと綺麗に整理したものということについてはちょっと国内外、
01:35:02	国外についてちょっとそこまでやっていなくて、データがあるすぐ取り寄せる国内について、今回整理させていただいてます。で、先ほど考えることとしている破壊伝播で、
01:35:15	プレート間地震等を海洋プレート内地震がレンド発生したというような事例については、収集した限りではないということを確認しているというものです。
01:35:25	はい、わかりましたありがとうございます。
01:35:30	調整官、どうぞ。
01:35:36	私、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:35:38	聞きたいのは一つで、
01:35:42	中部電力の
01:35:44	このプレート間地震とかいうオペレートない、もしくは、
01:35:49	大分地殻内の地震との、
01:35:52	伝導に関して、
01:35:54	破壊伝播に着目して、
01:35:57	論理展開するっていうことに関して、
01:36:02	何ていうかな、論理の妥当性は、
01:36:05	どうやって示そうとしてるんですか。それはど企業の考え方なんですか。
01:36:09	中部電力オリジナルの考え方なんですか。そこはちょっと教えてください。
01:36:23	はい。中部電力の森です。
01:36:27	12 ページの内閣府とは、同じ考え方をしているというふうに考えています。別の地震であって、
01:36:38	3 ポツ目ですか。上野は違います私が聞いているのは、すみません、赤い電波に着目して、
01:36:48	連動議論連動するしないっていうことを判断できるという考え方そのものについて、
01:36:57	その理論的妥当性はどっか、既往の文献から持ってきてるんですかそれとも中部電力オリジナルの考え方なんですかと聞いているだけです。
01:37:09	中部電力の盛です。
01:37:11	審査ガイドに照らして当社として、このような評価を
01:37:15	菅関係の主張、主張というか考えております。
01:37:21	わかりました
01:37:24	ここは、ちょっと今後コメント出してコメント、ちゃんと検討してもらうことになるかもしれないんですけど、
01:37:33	こういった統一的な説明を赤井電波の観点からかなり練りにされているんですけど、
01:37:42	私たちが多分ヒアリングも、
01:37:45	通して言わんとしているのは、もっと論理はシンプルじゃないですか。
01:37:52	いうことをいろいろ言わんとしてるんだけどそれをどどんどどんどん肉付けしてきたんで論理展開がわかんなくなってしまうている。
01:37:59	だからそこはもう多分相性の問題だと思いますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:38:05	こちらはもっと柔軟に考えて、
01:38:08	論理を変えた方がいいんじゃないですかと言ってるんだけど、そちらもろに変えないで、どんどんどんどん肉付けしてるので、論理展開がわからなくなってしまったってのが今の現状だと思います。
01:38:20	そういう意味でちょっと、
01:38:23	もう少し頭をやわらかくして考えていただいた方がいいのかなと、かなり4、
01:38:28	自分たちの考え方にこだわってしまっているが家にもうにっちもさっちもいなくなっていて一緒に困っていて、議論がすれ違ってるような感じは、すいません。します。
01:38:40	ということでちょっと1回コメントをちゃんともらった上で検討していただいた方がいいかなというのが、すみません。この椎葉のところ、
01:38:48	あったと思います。
01:38:50	以上です。
01:38:52	はい、渋谷嘉門です。ちょっと、今日佐口さんからもお話もありましたし、ここの部分を、もう一度、よりガイドに提案してわかりやすく考えていきたいと思います今の名倉調整官の
01:39:05	お言葉もいただいているので、考えていきたいと思います。基本的な論理としては、要は津波の組み合わせなので、組み合わせる。
01:39:17	程度、要は組み合わせを考慮しなければいけない程度の津波が発生するような、事象を考慮するかどうかそこは、地学的背景であったり関連性のところ、
01:39:28	になるのでちょっと確かに名倉調整官おっしゃられる通り、もう破壊伝播からこうなんでしょう、地震動の方、ガッツリ書き込んで補強してるんだけど、
01:39:39	そもそもやっぱり津波辞書のことなので、ちょっともう少し頭をやわらかくして、記載わかるように考えていきたいと思います。
01:39:56	はいわかりました。
01:39:59	強い One というところのコメントって、
01:40:02	実はものすごくシンプルなんですわ。
01:40:05	プレート間とプレート内の組み合わせに関して、
01:40:10	地震発生メカニズムも踏まえた上で、既往知見を整理して説明してくださいって。
01:40:16	かなり

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:40:19	私たち、回答のイメージを少し、
01:40:23	考えた上でコメントを出しているんですけど、それに関して、
01:40:28	それに対してコメント回答がかなり、
01:40:32	複雑というか、そういうところがあるので、少しちょっと、
01:40:40	論理構成をちょっと菅法務検討していただけたらなと思います。私からは以上です。
01:40:48	浜野です。ありがとうございます。ちょっと頭やわらかくして、もう1回考えたいと思います。
01:41:01	はい。
01:41:02	その他よろしいですか。
01:41:07	規制庁佐口ですけど、ちょっと補足というかも誤解がないように、私さっきいろいろ言いましたけど、あくまでも私の言ってる趣旨っていうのは、中身がどうかっていう話じゃなくて、
01:41:18	時基準規則に照らし合わせて、この部分が、ここに対応している部分です。要は地学的背景ということで、この部分が、この
01:41:29	関係性に対応してる部分ですっていうのがちゃんとわかるように、資料としてくださいねっていうそういう、
01:41:37	趣旨ですので、そこはよろしくお願いします。
01:41:40	はい。中部電力天野でございます。はい、重々承知しております。
01:41:49	はい。
01:41:50	はよろしいですかね。
01:41:54	あ、ごめんなさいあとちょっと、
01:41:55	辺だけ教えといてもらいたいんですけど
01:41:59	518の上端なんですけど、何ページだったかなあ。
01:42:05	あれ一応、
01:42:07	何か詳細は、
01:42:09	第400回ぐらいのあの会合資料をご覧くださいということではないかな、79ページかな。
01:42:15	こいつII
01:42:17	特に今、
01:42:20	今これあれかな、TSD救急にGワン、B案、
01:42:27	このときはほら、2反歩を決める時の多分会活断層調査の評価の時の、
01:42:33	調査の結果の一部なんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:42:37	これ今ここが代表的なところだけ載せてるわけじゃなくて一応この英語18周りでBSとなりそうな
01:42:45	測線で一応この79ページに全部載ってるんですけど。
01:43:02	はい。断層上端の議論の参考になりそうな断面としては全部つけていたと思いますがちょっと正確な情報をちょっと1回確認をさせていただきたいと思います。
01:43:14	はい。なんでもともとね、火山想定評価の時には別に。
01:43:19	こんなレベルでの上端深さの、
01:43:22	検討説明とかってしてるわけじゃないんで、部分的に当時の資料から、データからですね、こっちの評価でも借りてきてやってるんだと思いますけど、一応、
01:43:32	必要なものは、清測線図は全部出しているってことですかね。はい。
01:43:38	ちょっとそこだけ。
01:43:39	してください。
01:43:47	あとさっきの組み合わせのところにもう1点だけ教えてもらいたいですけど、
01:43:51	この組み合わせないパターンの何か応力変化によるとかって、こっちは準備過程準備が必要です。事前に心の準備がないと、その最大限のものを受けませんと言いつつ、
01:44:02	これ、いわゆるその破壊伝播って言ってる方って、
01:44:07	こっちは特に
01:44:10	いわゆる事前準備という約款を
01:44:12	ポテンシャルとして準備しなくても、クリアの分岐断層のように延長線上で動く場合は、
01:44:18	準備しなくても、例えばそのそれぞれの断層とMは、何か7. 幾つとかっていう最大限のものを、
01:44:25	起こせる、そっちは起こせるわけ、準備しなくても、
01:44:29	素行は、
01:44:31	そういうもんなんですか。
01:44:35	はい。中部電力の森沢の分岐断層自体は、ひずみを溜めないというふうに言われてますので、
01:44:43	押されてそのまま滑るというふうには考えられていると思います。
01:44:47	分岐断層はね。
01:44:49	はいはい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:44:51	分岐断層ではないけど、我々津波のここで組み合わせるところで言うのは本当に、
01:44:57	分岐断層のように、自動的に、
01:45:00	いわゆる 18 とかですねお前海脚整備は、
01:45:04	ポテンシャルためではなくて茂木断層と同じようになされるがままに、こうずれていくっていう、そういうものをイメージしてるわけですか。
01:45:11	ありました。
01:45:17	はい。
01:45:18	他よろしいですか。
01:45:21	よろしいですか。
01:45:22	はい。
01:45:23	五つ幾つかちょっと資料の新しく検討という資料の修正ということはしていただくとして今日が、
01:45:33	7月の26日って、
01:45:36	4社、8月通の早い時期にというと、事実上多分会合会、会議とかがですね。
01:45:46	できるのが8月4日ぐらいしかないかなと思いますけども、
01:45:50	資料としてはそこで議論できるような範囲内ではないというか、期間内で、今、本日あったような修正は可能ですか。
01:46:01	はい。中部電力浜野ですもちろん間に合わせます。うん。特にC1のところ、頭を悩ましてですけど、作業量があるっていうところでもないですし、
01:46:11	それ以外の、今日ご確認いただいたところは、本当に、もうやってるやつをべたべたとするだけなんで、しっかり間に合うように対応いたします。
01:46:22	はい。
01:46:23	わかりました。じゃあ、明日8月4日の会合で審議するような前提で考えておきます。阿藤。
01:46:31	一つ前面談で、確認しましたがけど審査スケジュール前回は5ガッ生徒6月23日で2ヶ月は経ってないんですけど、
01:46:41	こちら少し会合では、
01:46:44	資料の配布みたいなものを考えている
01:46:47	はい。主務連絡者ですはい。審査スケジュールについてもこの地震による津波と合わせて、1ヶ月半ほどたっておりますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:46:57	お示しをしたいなと思っております。
01:47:03	はい、わかりました。じゃあ、資料の方修正の上で、介護の方はこちらの方もですね、
01:47:10	開催案内を出すような準備が整い次第、松屋とかあるのであればご案内をいたします。はい、じゃあ、よろしいですかね。
01:47:19	よろしいですか。じゃあ以上でヒアリング終了しますお疲れ様でした。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。